

ナガミヒナゲシ

ケシ科，多年生（越年生）



地中海原産の帰化雑草で，幹線道路沿いや庭先などに広く生息する。5月にはオレンジの可憐な花を咲かせるが，繁殖力が強く，生態系を脅かすとして警戒されている。県内の麦類ほ場では，2017年度に蔓延ほ場が確認されている。

発生期間	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
※本県での詳細な発生期間は未確認												



形態的特徴	秋に出芽してロゼット状で越冬し，葉は1～2回深裂する。4月下旬頃から茎が直立し，5月の大型連休頃からオレンジ色の花を咲かせる。
生態的特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・種子は1株から最大15万粒生産され，未熟なものにも発芽能力がある。 ・アレロパシーにより周辺植物の生育を抑制する。 <p>（主に上記の理由から，繁殖力が大きく雑草化リスクが大きいとして，農研機構 農業環境変動研究センターが警戒情報を発信している）</p>
化学的防除法	<ul style="list-style-type: none"> ・土壌処理剤の効果は不明。 ・茎葉処理剤は，アクチノール乳剤，エコパートフロアブル，ベンタゾン液剤及びハーモニー75DF水和剤で効果が見られたとの報告がある。 <p>特にハーモニー75DF水和剤は10葉までで効果があるとの報告がある。</p>
耕種的防除法	